

CHUO BUSINESS SCHOOL

ビジネス・パーソンに特化した経営大学院
中央大学ビジネススクール



MBA PROGRAM 2027

中央大学大学院戦略経営研究科

CHUO GRADUATE SCHOOL OF STRATEGIC MANAGEMENT

私はこんなチェンジ・



中村 和広

2026年4月入学
株式会社インクループ
代表取締役

小柳 晴輝

2025年9月入学
株式会社ギミック
全国総合企画事業部
エグゼクティブマネジャー

榎園 鮎美

2026年4月入学
医療法人社団りんどう会
山手皮膚科クリニック

松本 大輔

2025年9月入学
アサヒビール株式会社
首都圏第一支社吾妻橋支店
課長

金本 浩宇

2025年9月入学
パナソニックHVAC &
CCシステムズ株式会社
CAC事業部 営業本部
主幹

チェンジ・リーダーを育成するCBS 3つのポイント

- CBS ポイント 1 理論と実践を立体的に学ぶ
- CBS ポイント 2 学びのニーズに柔軟にこたえる
- CBS ポイント 3 距離が近い

リーダーになりたい！



信頼と経験でつくった
会社を、理論と仕組み
で永続する会社へ

答えのない現代だから
こそ、現場と経営をつ
なぎ、変化を生み出す
人でありたい。

自社医薬品の市場価値を
高め、現在の治療方法を
変革し、新たなヘルスケア
エコシステムを構築する！

元気・笑顔・幸せに
満ちた社会づくりに
貢献したい！

自分を変え、
組織とともに進化し、
キャラクターの力で
世界に笑顔を。

野上 大輔

2026年4月入学
CGPパートナーズ株式会社
代表取締役

浅野 莉穂

2025年9月入学
参天製薬株式会社
戦略企画統括部
人事総務グループ
主任

新井 祐司

2026年4月入学
日本イーライリリー株式会社
ダイアベティス・オベシティ・
心・腎領域事業本部 東京支店
MR

丸山 剛弘

2025年9月入学
MS & ADインシュアランスグ
ループホールディングス株式会社
人事部
主席スペシャリスト

李 明勳

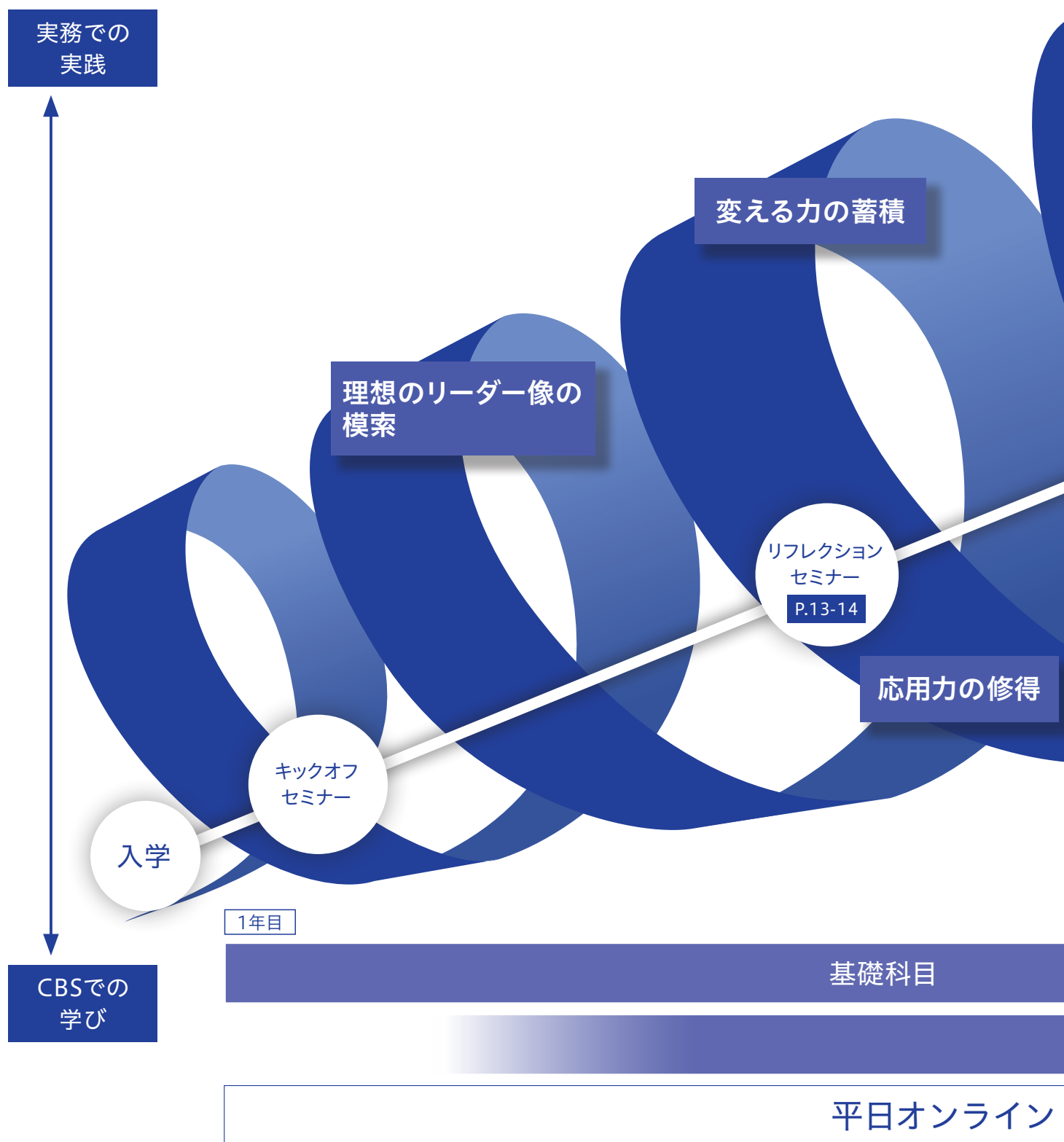
2026年4月入学
Sanrio Taiwan Co., Ltd.
COO

Index

・私はこんなチェンジ・リーダーになりたい！	1	・国際的に評価されている CBS	23
・チェンジ・リーダーへの2年間	3	・MY LIFE × CBS：卒業生インタビュー	25
・CBS ポイント 1	5	・専任教員紹介	29
・CBS ポイント 2	15	・連携サポート	31
・CBS ポイント 3	19	・MBA の概要・入試・給付金・奨学金情報	33

チェンジ・リーダーへ

中央大学ビジネススクール(CBS)では、実務とビジネススクールでの学びの両立と捉えるのではなく、双方を関連づける独自の学修スタイルを展開。授業で学んだことを仕事に当てはめたり、職場の課題を学びに照らし理論的に理解したりするなど、学び(理論とケース)と実務をつなぐことで相乗効果が生まれ、日々自らが成長していく好循環がもたらされます。



の2年間

チェンジ・リーダーへ

自分を変える力、
組織を変える力の修得

リフレクション
セミナー

リフレクション
セミナー

ラップアップ
セミナー

修了
MBA取得

修了生インタビュー
My Life×CBS

P.25-28

実務への応用
新たなビジネス
知識の創造

プロジェクト研究

P.11-12

2年目

発展科目・専門科目

講義と土日対面の講義



その課題、一つの視点だけで解決できますか？

戦略、組織、財務、人事、マーケティング、法律、そして AI。複雑に絡み合うビジネスの課題を紐解くには、あらゆる角度からアプローチする「複眼的な思考」が不可欠です。最先端のアカデミアの知見と、最前線の実務が交差するこの場所で、あなたの経験を確かな理論で裏付け、新たなビジネスの可能性を切り拓きましょう。

1.1 幅広い分野の理論を基礎から学ぶ

5 分野の理論と実践を学ぶ

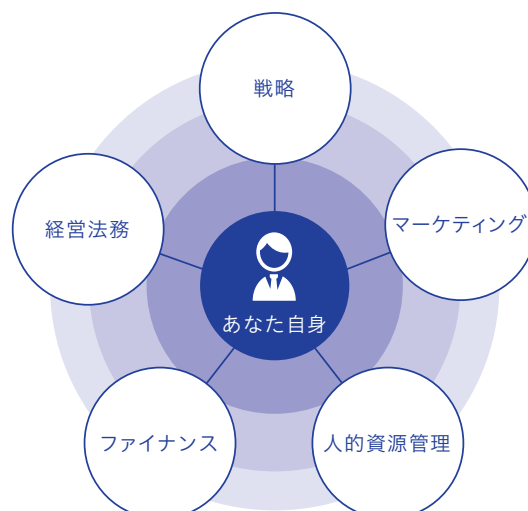
MBAホルダーが身につけておくべき5つの分野（戦略、マーケティング、人的資源管理、ファイナンス、経営法務）の理論と実践を、講義とCBS型ディスカッションの形式で学びます。CBSが提供する「MBAスタンダード」のプログラムです。

基礎を学ぶ基礎科目に加え、理論と実践を接合する発展科目、専門的な内容を深める専門科目がバランス良く配置されています。あなた自身のキャリアの目標に応じて、5つの分野を体系的に学ぶことができます。

▶プログラム P17



基礎を学ぶ基礎科目に加え、理論と実践を接合する発展科目、専門的な内容を深める専門科目がバランス良く配置されています



1.2 相互に学びあう、CBS 型ディスカッション

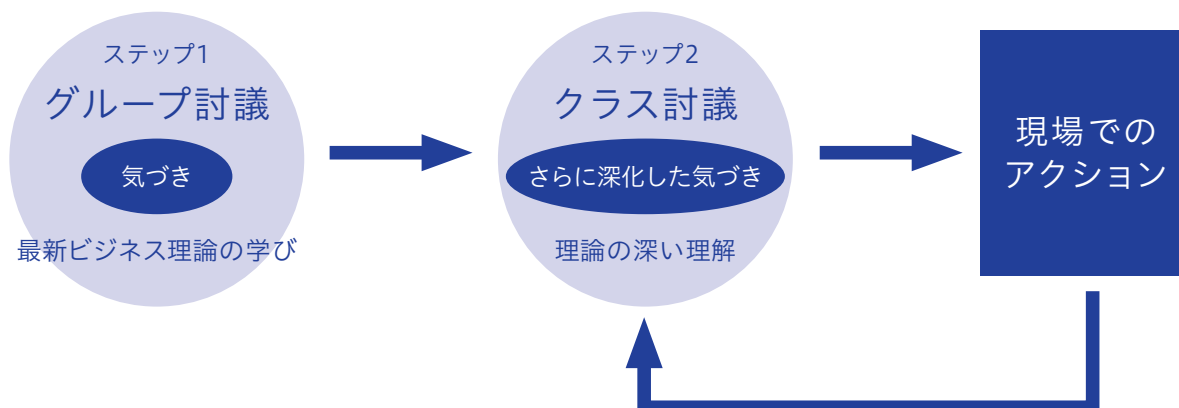
CBS 型ディスカッション – MBA のスタンダード科目を実践志向で学ぶ

CBS 型ディスカッションとは？

少人数でのグループ討議と受講者全員が参加するクラス討議を組み合わせることで、学生一人ひとりが積極的に参加しつつ、多様な実務経験に触れることができます。これは、CBSの強みである学生たちの豊富な実務経験に、教員が提供する最新ビジネス理論を融合することを目指しており、学生一人ひとりの実践志向の「気づき」を促そうとするものです。



CBS型ディスカッションの流れ



気づきの例

「自分のやり方は、不十分かもしれない。〇〇さんのやり方のほうがベターだ。明日からやってみよう」

「〇〇理論によれば、〇〇のような方法が、私の会社ではより適切かも。次の会議で提案できるかも」

「この前のアイデアを会社で提案したら、評判が良かった」

1.3 フィールドラーニング

経営の現場で理論を実践する

フィールドラーニングは、実在の企業を事例として、対象企業の抱えている課題や将来に向けて可能性を明らかにし、戦略を構築し、アクションプランまでつくりあげ、対象企業に提案する実践的な科目です。

通常の講義科目でもケーススタディとして実在の企業をとりあげますが、フィールドラーニングでは、対象企業と密接に交流し、よりリアルな生きた事例に取り組む点が異なります。

フィールドラーニングを実施している科目は複数あり、戦略、マーケティング、グローバル・イノベーション等が開講されています。

■ 通常講義科目のケーススタディとフィールドラーニングの違い

	通常科目のケーススタディ	フィールドラーニング
何を学ぶのか	特定分野の経営理論を理解し、活用する	今までに学んだ理論すべてを統合して構想し、実行プランにまで落とし込む
どうやって学ぶのか	テキスト、ケース教材をもとに受講生、教員とディスカッションする	現場の生きた声を聞き、現地調査を行い、対象企業、受講生、教員が学び合う
アウトプット	レポート、プレゼンテーション等を大学に提出する	対象企業に具体的な戦略と実行プランを提案する

●フィールドラーニング(戦略1・2) 対象企業例

2026年度は、アサヒグループ食品株式会社にご協力いただき、研究・営業・マーケティングなど各分野の管理職社員と社会人学生が議論を重ねながら、人口減少・健康意識の変化など大きな環境変化を踏まえて、2040年に向けた「食と健康」を生活者視点で再設計、食品企業の未来戦略を検討します。



2026年「アサヒグループ食品株式会社」

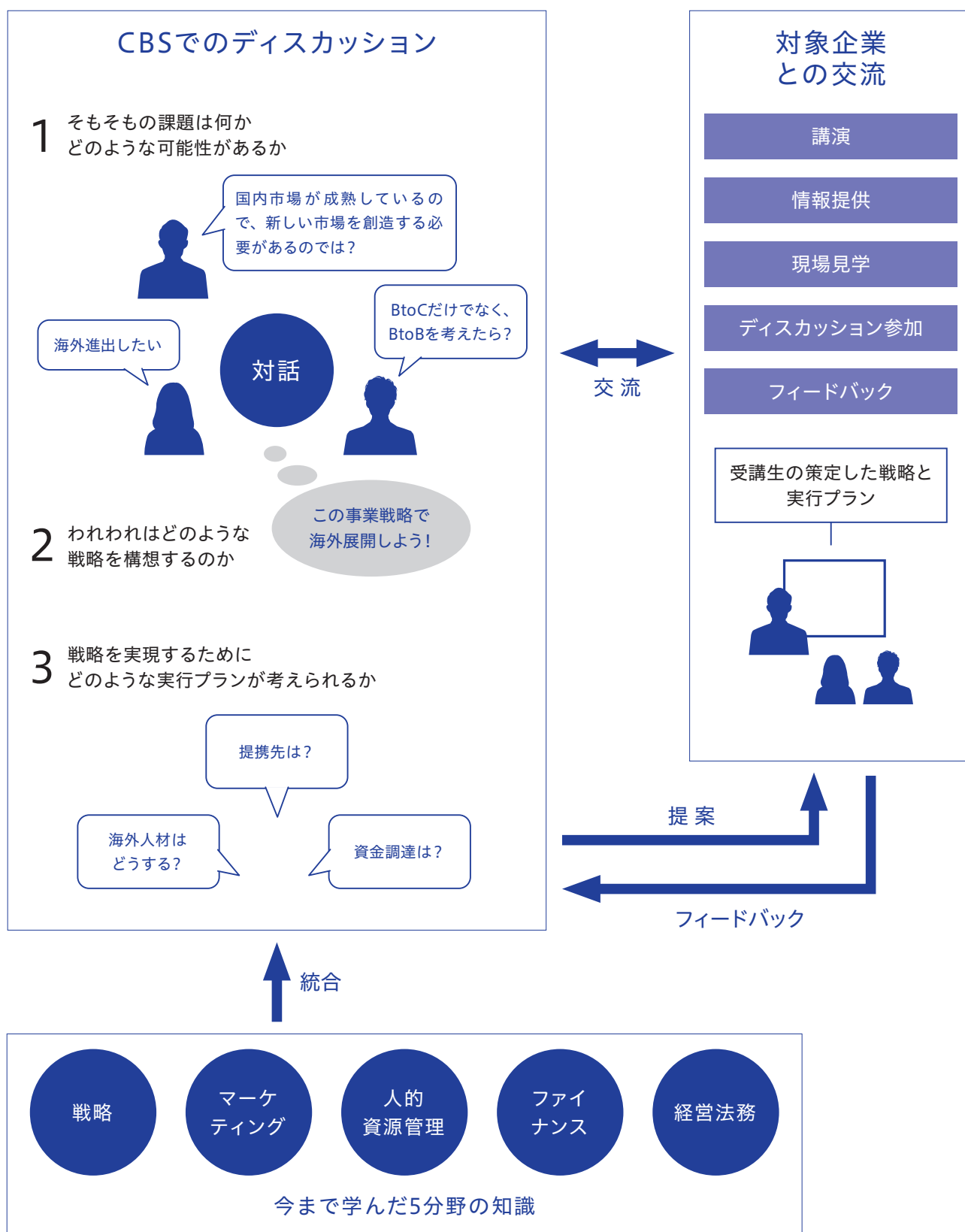


2024/25年「島村楽器株式会社」



2024/25年フィールドラーニング戦略1・2
「島村楽器株式会社」の参加者座談会はこちら

対象企業と交流しながら議論を深め、実践的な戦略を提案する



CBS では、国内および海外での「フィールドラーニング (FL)」を実施しています。
海外フィールドラーニングは、アメリカとアジアの 2 つのエリアで展開しています。

▶ 海外フィールドラーニングの詳細は次ページ (P9-10) をご覧ください

事前学修を重ね、現地へ。 シリコンバレーで学ぶ実践的なイノベーション。

世界有数のスタートアップ・エコシステムであるシリコンバレーを舞台に、イノベーション創出のメカニズムを実践的に学ぶプログラムです。CBSおよび理工学研究科の履修生は出発前に自らビジネスプランを作成。現地では、ベンチャーキャピタリストらの審査団に英語でピッチ。現地の起業家や投資家との対話を通じて、自身の視野や思考を着実に広げます。

STEP 1 【出発前】

事前講義とビジネスプランの構想・作成

事前講座では、シリコンバレーのイノベーション・エコシステムやテック・スタートアップなどを幅広く学びます。また自らのビジネスプランを構想・作成し、ブラッシュアップを重ねることで、現地での英語ピッチに向けての準備を行いました。



STEP 2 【現地】

起業家・企業との対話を通じた理解の深化

現地ではピッチに加え、現地起業家との対話、現地企業や日系現地法人の訪問、さらに UC バークレー校ビジネススクールでの講義など、多彩なプログラムを経験。事前準備があったからこそ、表面的な質疑応答ではない、本質に迫るディスカッションが実現しました。

STEP 3 【帰国後】

「失敗を恐れない」 グローバルマインドの獲得

現地で浴びた「圧倒的なスピード感」や「挑戦を称えるカルチャー」を持ち帰り、自身の今後のビジネスやキャリアにどう生かすかをリフレクション。



修了生の声

最先端の地で体感した、イノベーションの源泉



伊原 礼華

入学年月：2024年9月

修了年月：2026年9月

勤務先/役職：TOPPANホールディングス株式会社/一般職

フィールドラーニング先のシリコンバレーでは、現地企業の訪問やベンチャーキャピタルでのプレゼンテーションなどを通じて、実践的な学びを得ました。印象深かったのは、日立の現地法人の方から伺った「シリコンバレーでは前例のないことにこそ価値がある」という言葉。まさにイノベーションを生み続けるシリコンバレーを象徴しています。また、オープンでクリエイティブな雰囲気や、挑戦を後押しする風土に触れたことも大きな収穫でした。その一方で、ある種の覚悟も芽生えました。これからは自分たちが日本企業を変えていかなければならない。そんな当事者意識をこれまで以上に強く実感した一週間でした。

Vietnam

急成長するアジアの熱源へ。 ベトナムの若き起業家と交わした、ビジネスのリアル。

平均年齢が若く、デジタルネイティブ世代が経済を牽引する国、ベトナム。今、最もダイナミックに変化を遂げるこの地で、CBSの学生たちは何を見たのか。現地のオフィスに飛び込み、社会課題を次々とビジネスに変えていく若きリーダーたちの『生の声』に触れた、濃密なフィールドラーニングです。

【現場を見る】

躍動する市場の最前線へ

急成長を遂げる現地のローカルスタートアップや、現地で事業を開する日系進出企業のオフィス・現場を訪問。



【声を聴く】

若き起業家たちとの熱い対話

社会課題を解決するために立ち上がった現地起業家たちの情熱、スピード感、ビジネスモデルを直接ヒアリング。

【マインドの変化】

日本を、自分を、 外から捉え直す

課題だらけの環境（カオス）をチャンスに変える現地のバイタリティに触れ、参加者自身の「ビジネスへの基準」が変わった瞬間。



参加者の声

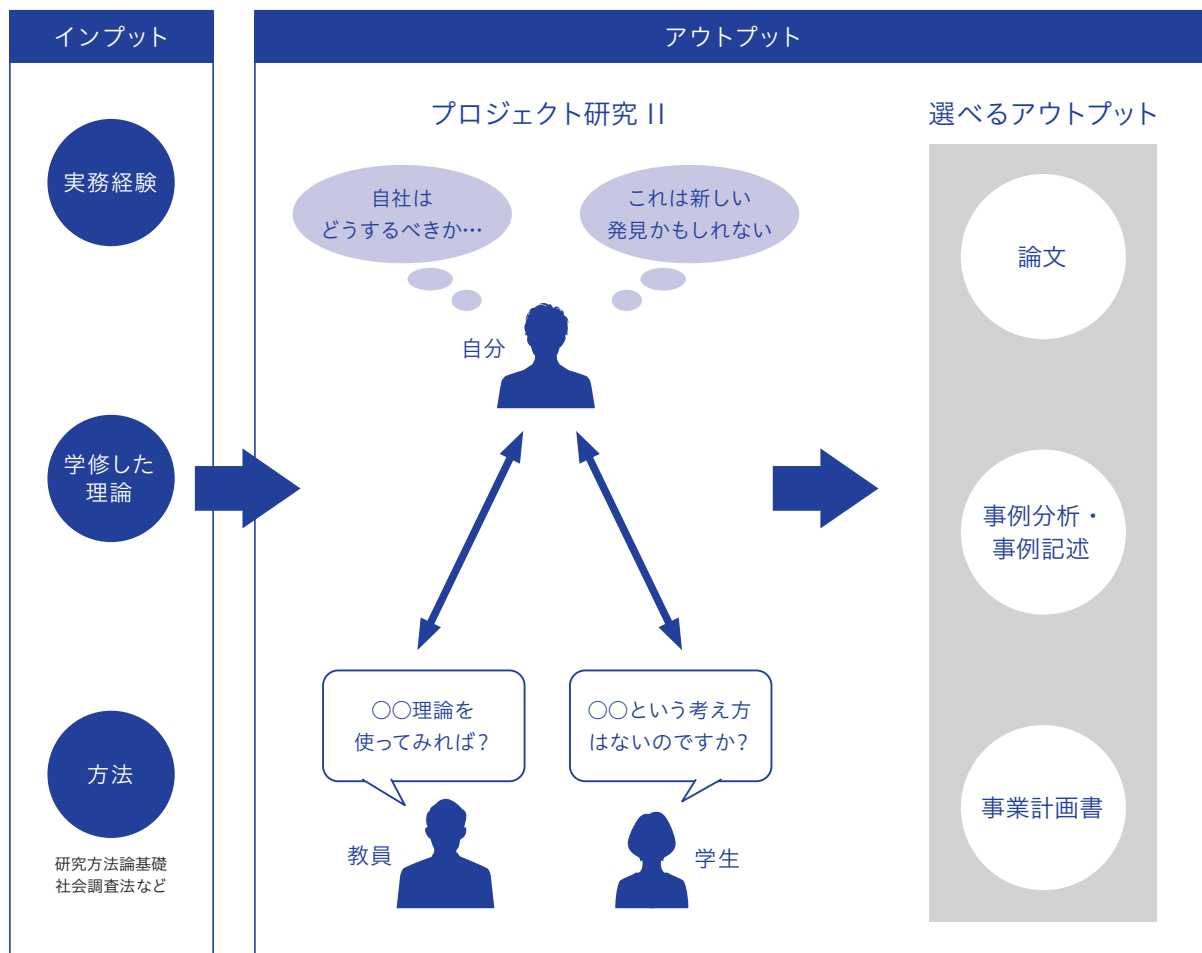
- ・今回のベトナムでのフィールドラーニングを通じて、最も大きな学びは、現地の生の情報を自分の目で確かめることができた点である。実際に現地を訪れることで、机上の知識だけでは捉えきれない「リアルなベトナム」を体感することができた。街の雰囲気、人々の生活、働き方などを直接見ることで、情報の解像度が大きく高まったと感じている。また、現地法人企業で働いている方々と直接接点を持てたことも非常に貴重な経験であった。
- ・少子高齢化時代に突入して久しい日本とは違い、国全体が若く勢いもあるベトナムの空気を直接感じることができ、実際に事業をされている人たちにも話を聞くことができたので非常に良い経験となりました。
- ・現地での様々な職種や環境の方のお話や、ビジネスプランに対するしっかりとしたFBもいただけて良かったです。またスケジュール的にも余裕があり、現地視察にも時間を充てることが出来て良かったです。

2026年度のアジアのフィールドラーニングはタイ、2027年度はベトナムを舞台に、現地の最前線で活躍する企業への訪問やディスカッションを通じて、グローバルビジネスの今を体感します。

1.4 2年間の集大成、プロジェクト研究

プロジェクト研究で2年間の集大成ができる

プロジェクト研究では、在学生全員が「プロジェクト」(いわゆるゼミ)に所属し、専任教員からの指導を受けることができます。活動のアウトプットは、受講生の志向に合わせて、論文、事例分析、事例記述、事業計画書、プロジェクト・レポートのいずれかを選択することができます。2年間の集大成から、新しいビジネス知識が生まれています。



修了生の声

現地ピッチを見据えたリアルな事業計画。掴んだのは全社最適の視座。



中嶋 優

入学年月：2024年4月

修了年月：2026年3月

勤務先/役職：株式会社ニフコ/担当部長

研究テーマは、アバターを軸に美容やファッションを再統合するプラットフォームの構築です。各科目での学びを基に、さらにシリコンバレーでの現地ピッチを見据えて執筆したことで、主観的な熱意と投資家目線の客観性を両立させた計画書に仕上げることができました。とりわけ苦心したのは、単に各機能を寄せ集めるのではなく、一本のビジネスストーリーとして一貫性を保ち続けること。ゼミでの壁打ちや指導を通して、一人では到達できない論理的妥当性を持つ計画書を描き切ることができました。この包括的な執筆体験を経て、実務でも全社戦略的な視点から自組織の価値構造を変革する経営の視座を得られたことが、私にとって最大の財産です。

2025 年度の論文・課題研究受賞者



詳しくはQRコードから
ご確認ください

論文A

・尾仲 希代

障害のある社員の戦力化とキャリア形成を促進する組織メカニズムの探究 ―合理的配慮に着目して―

キーワード：合理的配慮、ソーシャル・キャピタル、正統的周辺参加、発達の最近接領域、静かなる包摂

・柳澤 慎一

人工知能(AI)が起業機会に与える影響の考察

キーワード：アントレプレナーシップ、起業機会、不確実性、人工知能(AI)、意思決定

論文B

・村上 佑順

介護離職者の介護終了後における生活満足度形成プロセスの解明
～量的・質的データを用いた混合研究～

キーワード：介護、介護離職、生活満足度

・井手 長祥

コングロマリット企業における営業一体活動に関する考察

キーワード：① 営業組織の知識創造 ② 営業連携 ③ サイロ化の壁 ④ コングロマリット企業 ⑤ 行動ベース評価

・飯沼 祥也

仏教寺院における顧客態度形成の研究 ―顧客満足度と利用意向を中心として―

キーワード：仏教寺院、寺院経営、顧客満足、利用意向、非営利組織マーケティング

・佐々木 正成

人的資本情報の評価と企業価値に関する研究 ―低賃金時代からの脱却は企業価値向上につながるのか―

キーワード：人的資本、情報開示、賃上げ、企業価値向上、価値分配

・唐 琪

中国における知的財産保護の進展と日本企業の模倣品対策戦略
―商標制度変化と企業実務の相互作用に関する考察―

キーワード：1 中国における知的財産(商標)制度・運用の進展
2 模倣品対策戦略 3 制度と実務の相互作用(制度変化×企業実務)
4 日中比較(商標制度・実務運用差異) 5 止血・根治・再発抑制の実務運用設計構造

・古矢 徹

企業における社会的インパクト評価の標準化に関する研究
―サステナブル経営とESG投資の意思決定支援のために―

キーワード：ESG、UNEPインパクト・レーダー、社会的インパクト、非財務KPI、網羅性と標準化

・川畑 文人

スマホ・携帯電話のリサイクル行動のメカニズム ―リパースロジスティクス的心里学的アプローチ―

キーワード：循環型経済・リパースロジスティクス・計画行動理論(TPB)・共分散構造分析・内発的動機づけ

・鈴木 祥太郎

企業グループにおける戦略人事の在り方に関する研究 ―持株会社と事業会社の人材マネジメント機能の分担に着目して―

キーワード：戦略人事、持株会社、事業会社、人材マネジメント

・富田 美恵

多国籍企業の本社が現地子会社社員のエンゲイジメント向上に貢献できることは何か ―経営理念の浸透に着目して―

キーワード：グローバル経営、現地子会社社員、エンゲイジメント、経営理念、日本本社

・蓮田 裕直

スタートアップ・エコシステムにおける企業連携

―つくばスタートアップ・エコシステムの事例研究―

キーワード：起業エコシステム、スタートアップ政策、ターゲットレンジ、つくば地域、事例研究

課題研究・事例分析

・森 慶太

医療機器におけるDTCマーケティング(疾患啓発)の効果分析

・川岸 弘享

感謝日記が職場における個人の心理および人間関係に与える影響 ―製造現場における研究―

キーワード：感謝日記、製造現場、社会関係資本、認知的変化、振り返り

・高橋 ユカリ

フラット型組織における社員の行動変容プロセスの考察

キーワード：フラット型組織、翻訳者、管理職機能の分散・分担、心理的安全性、自律的な相互補完ネットワークの形成

・若林 亮

企業間の共創ビジネスの成功に影響する対境担当者の行動・認識について

キーワード：共創ビジネス、対境担当者(Boundary Spanner)、認知バイアス、解釈の不一致

課題研究・事業計画書

・中嶋 優

トータル・パーソナライズド・コーディネート・プラットフォーム構築に関するビジネスプラン

キーワード：仮想試着(VTO: Virtual Try-On)、オンライン・クローゼットパーソナライズド・コーディネート、ライフスタイル統合プラットフォーム、ファッションEC返品削減

学ぶ→実行する→振り返る

授業での学びを、自分の職場で実行し、その結果を授業のディスカッションやリフレクションセミナーで振り返ります。

リフレクションセミナーは、半年ごとに全員参加で開催される振り返りの場です。

半年ごとに自分の経験を他学生や教員と共有して振り返を行い、次の学びのサイクルにつなげます。



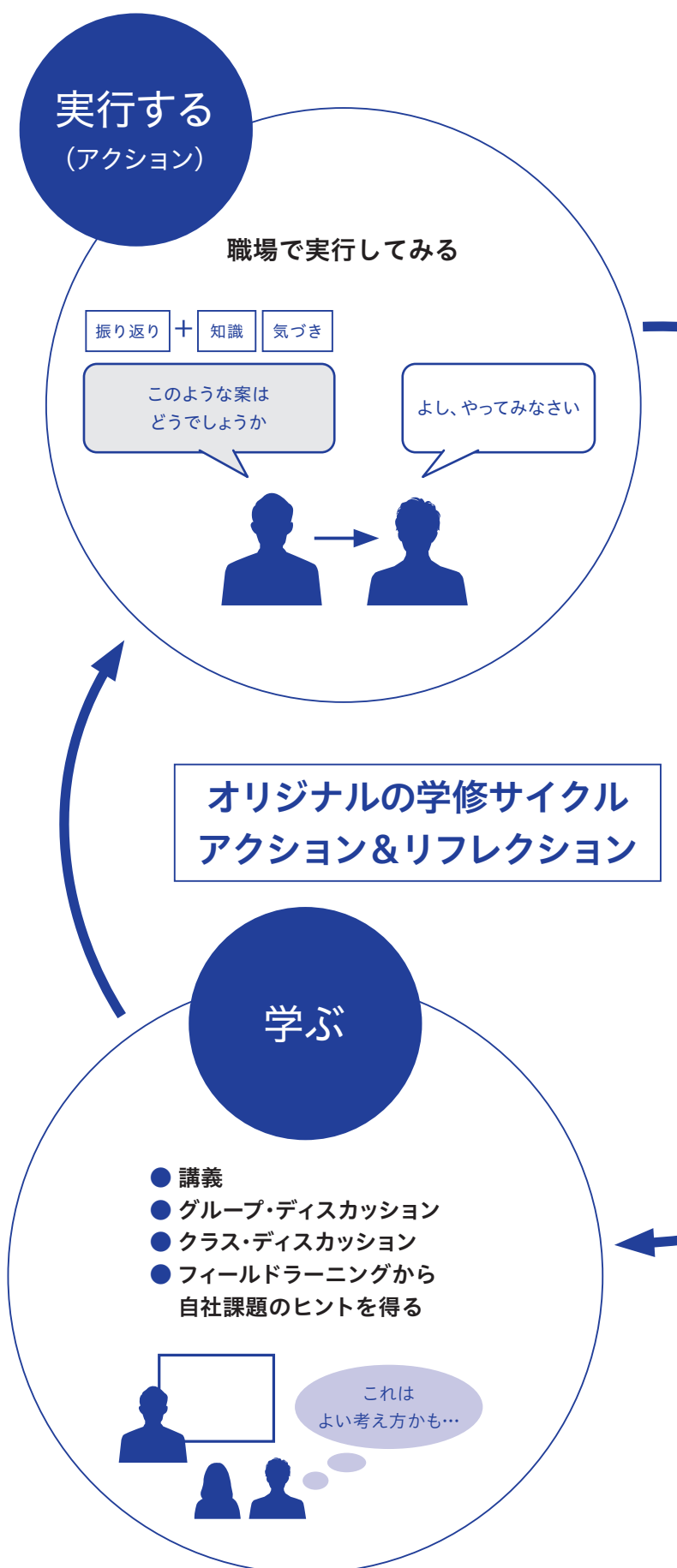
入学直後のキックオフセミナーでは一人ひとりのビジョンを共有します



リフレクションセミナーでは半年間の自分の経験をグループで振り返ります



ほとんどの授業でグループディスカッションの時間があります



修了生の声

仲間との対話で見えてきた、組織との向き合い方



蔵本 梨乃

入学年月：2024年4月

修了年月：2026年3月

勤務先/役職：有限会社火報電業/役職なし

家業を継ぐことが現実味を帯びるなかで、自身の実力不足を痛感していました。CBSへの入学を決めたのは、経営理論を学び、それを実務に活かす力が不可欠だと考えたからです。業界外との接点が少ないため、リフレクションセミナーは非常に有意義な場でした。自分の行動を客観的に振り返り、社員一人ひとりの感情や背景を踏まえながら働きかける視点が身についたと感じています。その結果、社員同士が本音で話し合う場面も増え、社内のコミュニケーションにも少しずつ変化が生まれています。今後は「自分の考えが絶対ではない」という前提に立ちながら、より良い組織づくりを進めていきたいです。

授業のディスカッションや
リフレクションセミナーで振り返るこのような考え方も
あります

教員

共有

内省

実行してみたけれど、
なぜうまく行かないのでしょうか？

概念化

そうか！
次はこうしよう私にも経験がありますが、
こうしてみても？

学生

共有

自分

共有

同期のAさんに
相談してみたら？

学生

振り返る
(リフレクション)

次の学びのサイクルへ



各自が考えたことを全体で共有し、メンバー同士で自由にコメントを寄せ合います



圧倒的な学びやすさ。あなたのライフスタイルを、学びの足枷にしない。

仕事と学びを妥協なく両立させるために。CBSでは、平日オンライン授業＋土日対面授業、主要駅から抜群のアクセスを誇るキャンパス、春・秋選べる入学時期など、社会人が学びやすい環境を徹底的に整えています。さらに、1科目から学べる単科コースや、キャリアに直結する成果物を選べるプロジェクト研究など、一人ひとりの「学びたい」にどこまでも柔軟に応えます。

2.1 社会人のニーズに合わせた柔軟な学び、平日オンライン・土日対面講義

平日オンライン・土日対面講義

●多様な働き方やライフスタイルに対応

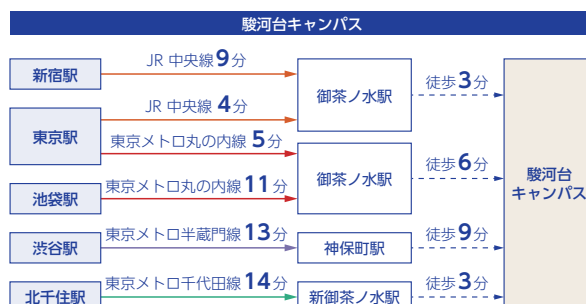
CBSは、前期・後期のセメスターを前半・後半に分けたミニセメスター制を導入し、授業は2コマ連続開講にすることで、受講期間を7週間にしています。原則として、平日はオンライン講義、土日はキャンパスでの対面講義。平日は、遠隔地や自宅からも講義が受けられます。

オンライン					対面		
	月	火	水	木	金	土	日
1限	休	平日夜間は 18:30～開講				9:00～10:40	9:00～10:40
2限						10:45～12:25	10:45～12:25
3限						13:05～14:45	13:05～14:45
4限						14:50～16:30	14:50～16:30
5限						16:40～18:20	
6限		18:30～20:10	18:25～20:05				
7限		20:20～22:00					
	(100分授業14回)						

主要駅からアクセスしやすい立地

●2023年度に移転した新築キャンパス

駿河台キャンパスで講義が行われています。都心の主要駅からアクセスしやすい場所に位置しています。



オンライン講義と対面のメリットを融合し、新しい学びの創造へ

多様な働き方やライフスタイルを持つビジネスパーソンに学びを届けたい。

対面での豊かなコミュニケーションの意義も残したい。CBSは、この理想を実現するため、新しい学び方の創造に挑戦しています。



平日 火～金 は「オンライン」

録画ではないライブ双方向型の講義

CBSのオンライン講義は、録画されたビデオを放映するものではありません。教員と学生が同時に講義に参加し、ディスカッションもする、いわゆる「ライブ双方向型講義」が展開されています。

多様な生活や働き方に対応

オンライン講義では、自宅や職場から18時30分開始の講義にすぐに参加できます。多様なライフスタイルやワークスタイルを持つビジネスパーソンにとって多くのメリットがある講義形式です。



週末 土、日 は「対面」

濃密なコミュニケーションによる深い気づき

CBSの対面講義には対話の機会が豊富にあります。「このやり方どう思う?」「それは気がつかなかった!」などという、小さくとも密なコミュニケーションを活性化させることで、現場でのアクションへの気づきが生まれます。

人的ネットワークの構築

オンライン講義だけに頼ると会話に「余白」が不足しがちです。キャンパスでのリアルなグループワークや、休み時間や講義後などの「雑談」は、ヒューマンネットワーク構築のために不可欠です。

オンライン授業も対面授業も録画が履修者に公開されています。授業を欠席した時も後から復習したい時も録画を確認して学びを深めることができます。

修了生の声

仕事・育児・学びを実現する、柔軟な講義スタイル



鈴木 早百合

入学年月：2024年4月

修了年月：2026年3月

勤務先/役職：株式会社PRdoor/代表取締役

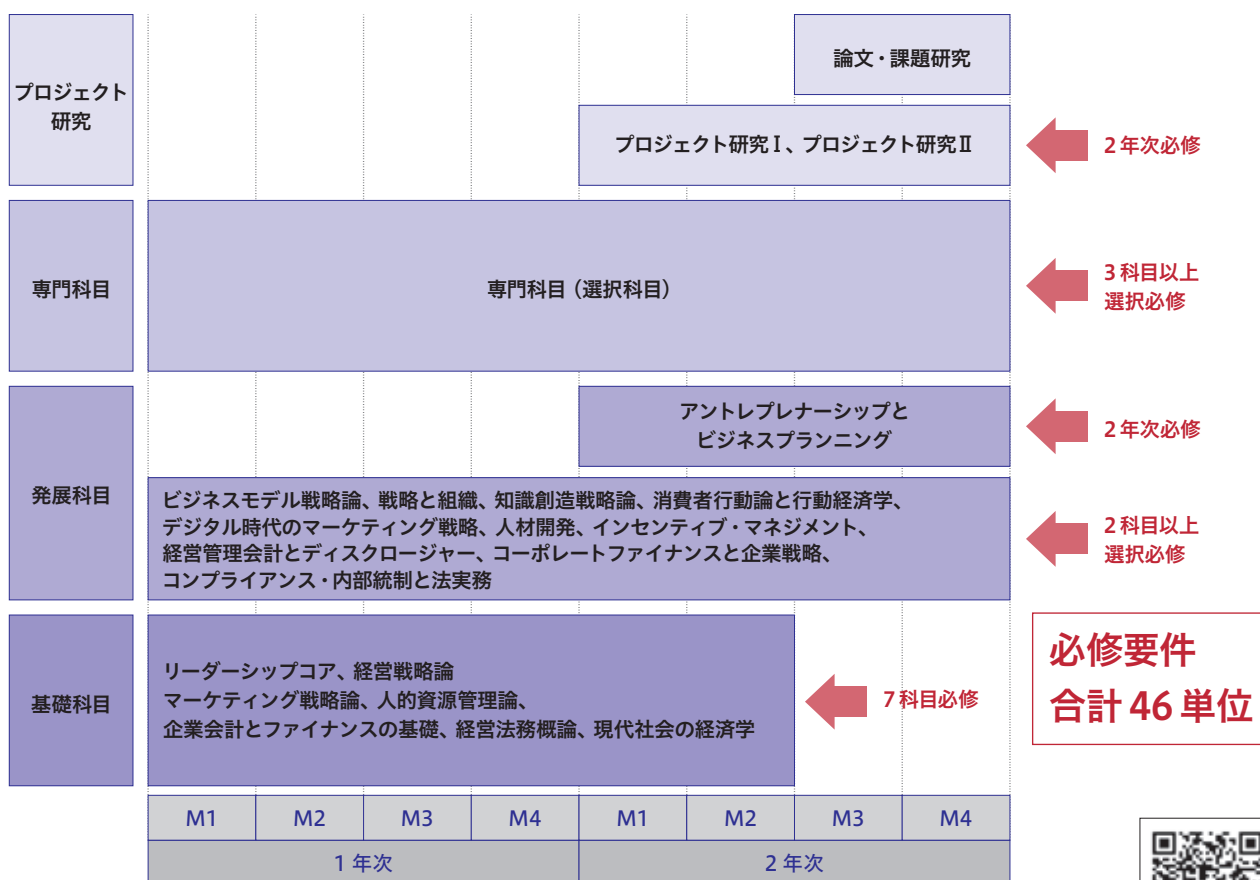
オンラインと対面を組み合わせた講義スタイルは、育児と仕事を抱える私にとって大きな支えになりました。とくに平日のオンライン授業は、学びを継続するうえで欠かせませんでした。一方で、対面授業でしか得られない価値にも気づきました。多様な業界で活躍する同窓生との交流は大きな刺激となり、自身の成長を促すきっかけに。互いに励まし合えば、自然とモチベーションも上がります。キャンパスがJR御茶ノ水駅から徒歩アクセスしやすく、通学の負担を抑えられることも魅力の一つ。在学中に法人を設立できたのも、こうした柔軟な学習環境のなかで時間を有効活用できたからだと思っています。

2.2 いつでも、どんなバックグラウンドからでも

ニーズに合わせて選べる、CBS の柔軟な入試&入学制度

CBSは、4月・9月の春秋2回入学制を採用しています。多様なバックグラウンドを持つ学生の「学びたい」という熱意を取りこぼさないよう、柔軟な入試制度を完備。あなたのライフスタイルに最適なルートで、MBAへの第一歩を踏み出せます。

カリキュラムの概要



専門科目の内容など、詳しい
カリキュラムはこちら



在学生の声

キャリアを見つめ直す中で、9月入学でMBAへの挑戦を決意



浅野 莉穂

入学年月：2025年9月

勤務先/役職：参天製薬株式会社 戦略企画統括部 人事総務グループ/主任

薬剤師資格に捉われない視点や強みを身につけたいと考え、CBSに関心を持ったのが2025年5月でした。翌年の4月入学という選択肢もありましたが、「課題意識がある今すぐ始めたい」という思いから9月入学を選択。出願から入学までの期間が短かったので、授業の内容を実務課題と照らし合わせながら学べました。また、20名ほどの少人数制も9月入学ならではの魅力です。学生同士の距離が近く、研究テーマの相談はもちろん、キャリアについても率直に語り合える関係を築けました。CBSでの学びを通じて視野が広がり、今では自身の経験や専門性をどのように活かしていけるか、将来のキャリアを前向きに捉えられるようになっていきます。

単科コース 1 科目 (2 カ月) からの MBA ●多様な働き方やライフスタイルに対応

単科コースは、MBAコース(正科生)へ入学せずに、実際のCBSの講義に参加し、単位を修得できるコースです。単科コースは、1科目2月からスタートできるので、「働きながら学びたいビジネス・パーソン」の皆さんが容易に学びを始められる仕組みです。

※単科コースの正式名称は「科目等履修生」制度です。

※単科コースも正科生と共にディスカッション等をする為、入学要件は同レベルです。

メリット① 1 科目 (2 カ月) からスタートできる

メリット③ フレキシブルな学びで MBA を取得できる

メリット② 受講料と単位は正科に引き継げる

※最大 8 単位まで認定

■活用例1 週末2科目もしくは平日2日の週2科目受講、2年半でMBAホルダーに

入学半年前	1年目	2年目	MBA取得 (46単位)
週2科目 (半年間) 8単位修得 (2科目×2単位/科目×2クォータ/半年)	週1～2日受講 38単位修得 (土曜複数科目&1日程度)		

■活用例2 週1日1科目からスタート、3年でMBAホルダーに

1年前	半年前	1年目	2年目	MBA取得 (46単位)
週1科目 (1年間) 8単位修得 (1科目×2単位/科目 ×4クォータ/年)		週1～2日受講 38単位修得 (土曜複数科目&1日程度)		

MBA体験会 (MBAコース説明会)

ビジネススクール(MBA)への進学に興味があるながらも、いろいろな疑問や不安があり、今一步受験にまで踏み出せていない方もいるのではないでしょうか？

そこで、中央大学ビジネススクールでは、「体験型」の説明会を実施しております。MBAコースや入試の説明のほか、本校教授陣による模擬授業と在校生を交えたグループディスカッションが体験できます。

詳細な内容やお申込みについては、右のQRコードよりご確認ください。

▶参加者の声



グループディスカッションを通じて多様な考え方に触れることができました

模擬講義で授業の雰囲気がよくわかりました

在学生の方に勉強と仕事の両立のリアルを聞くことができました



詳しい日程・内容はQRコードから

在学生の声

さらなるステップアップを求めて、単科コースから本科コースへ



長南 進亮

単科コースの入学年月：2025年9月

本科コースの入学年月：2026年4月

勤務先/役職：TBCグループ株式会社/常務取締役

仕事を通じて自分なりの判断基準を培ってきましたが、それを理論的に整理し、説明できるのかという不安がありました。そんな私にとって、単科コースはこれまでの経験や実践を振り返るいい機会になりました。経験と理論が結びついていくプロセスには大きな手応えがあり、経営を捉える視座も一段上がったと感じています。企業戦略や人材育成に携わるうえでも、必ず役立つはず。修了後、学びへの意欲はいっそう加速することに。経営と学びを実践的に結びつけ、理解をさらに深めたいと考え、本科コースへの進学を決めました。迷われている方には、まず一歩踏み出してみることをおすすめします。



一人ひとりに寄り添う CBS。充実のサポートと温かい繋がりが、確実な成長を支える。働きながらの学びに、不安を抱えていませんか？ CBS では、入学直後から学生複数名に担当教員がつく「アドバイザー制度」や、授業開始前に内容や評価方法をクリアにする「プレ講義」など、受講生の不安を和らげる仕組みを徹底しています。さらに、教員の研究室と学生の交流スペースが隣り合うキャンパス設計や、研究会やスポーツを通じた横・縦のコミュニティ活動も盛ん。教員や仲間との距離が近い CBS だからこそ、仕事と学びを安心して両立できます。

3.1 個別アドバイザー制度 & プレ講義

●個別アドバイザー制度

入学前に学生複数名に担当教員が割り当てられ、ゼミ配属前の1年次でも履修や学生生活の相談を個別にできる仕組みを設けています。



修了生の声

教員との対話によって信頼関係が築かれる



飯沼 祥也

入学年月：2024年4月

修了年月：2026年3月

勤務先/役職：僧侶（浄土真宗本願寺派）

入学して驚いたのは、先生方が学生のプロフィールや実務課題を把握されていたことです。これは講義内で挙がる学生の声を真摯に受け止めている表れだと感じました。オープンスペースのコモンズには教員室が併設されており、授業外でも先生方と気軽に交流できます。悩み相談から趣味の話に発展することも珍しくありません。また、実務家教員と研究者教員のバランスが取れているため、多様な視点からアドバイスをいただける点も魅力です。さらにアドバイザー制度によって学びの方向性を示していただいたことで、入学当初に抱いていた不安も和らぎました。2年間の学びを充実させるうえで、非常に心強い制度です。

●プレ講義

授業開始の1週間～2週間までに、授業内容や評価方法などを30分ほどオンラインで講義します。シラバスを読んでプレ講義を聞くことで、科目内容をよく理解したうえで履修を決められるので、履修してから自分が学びたいことと違ったというミスマッチを防げます。



CBS公式
YouTubeチャンネル



3.2 先生の研究室と学生のオープンスペース

学生の交流・自習エリアのすぐ隣に教員の研究室を配置。
通りがかりの雑談から、最先端のビジネス議論までが日常茶飯事です。



3.3 学生間の距離が近い

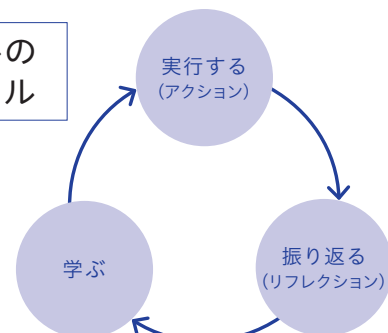
仲間たちとの振り返りの場がある。CBS型ディスカッションで仲間が増える。CBSは縦のネットワークも大事にする。クラスメイトが経験豊かなビジネス・パーソンである。

仲間たちとの振り返りの場がある

アクション&リフレクションは、講義での学びを現場でのアクションで活かすために開発された、CBSオリジナルの学修サイクルです。仲間との振り返りの場（リフレクションセミナー）を大事にしています。

▶アクション&リフレクション P13-14

オリジナルの
学修サイクル



CBS 型ディスカッション

●異業種のプロフェッショナルと、本音でぶつかり合う。

CBSがディスカッションを何よりも大切にしている理由。それは、ビジネスのリアルな課題を解決する力は、教科書を読むだけでは身につかないからです。「その視点はなかった」「私の業界ではこう考える」。さまざまな視点が交差する教室は、まさに新しい知恵が生まれる実験場。徹底的に議論し、お互いの知見を共有し合うプロセスを通じて、学生間の交流は自然と、そして深く濃くなっていきます。刺激的な仲間との対話が、あなたのビジネスパーソンとしての器を大きくしていきます。

世代や立場を超える多彩なコミュニティ

メディケア・プロジェクトなどの研究会、現役生と修了生が汗を流すフットサルサークル、ゴルフコミュニティなど、利害関係のない一生モノの仲間と出会えます。

メディケア・プロジェクト

ヘルスケア分野の在学学生や修了生が集い、定期的に勉強会を開催しています。外部から講師を呼んでの講演会も実施しています。

JBCCコミュニティ

様々なビジネススクールが集い経営課題の解決を競う「日本ビジネススクール・ケース・コンペティション」(JBCC) に、CBSの在校生は修了生のサポートを受けながらチャレンジしています。

CBSユナイテッド

修了生、現役生が集まるフットサルサークルです！3か月に1回程度の練習と懇親会を実施しています。走り、蹴り、転び、笑い、そして飲み、語る。世代、職業、性別を超えて、タテヨコナメの交流を楽しんでいます！



CBS女子会

CBSの修了生・在学学生の女性の交流の場です。不定期に開催されており、さまざまな業種・職種で活躍する女性たちが気楽に集いネットワークを広げています。



CBSゴルフコミュニティ

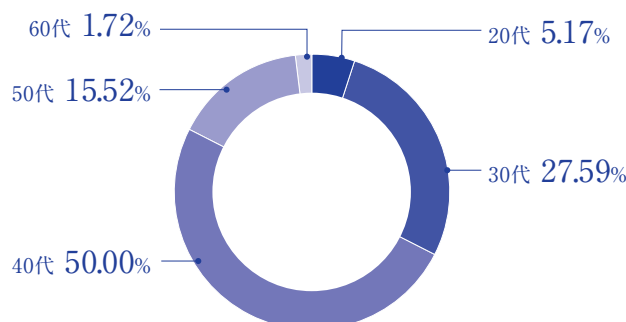
CBSのゴルフ好きの修了生・在学学生が集まり、年に2回(3月と9月)、初心者もOKのコンペを行っています。2026年3月までに18回開催され交流を深めました。このほかにもMBA対応コンペや各学年や仲間同士の親睦コンペなども多数開催されています。



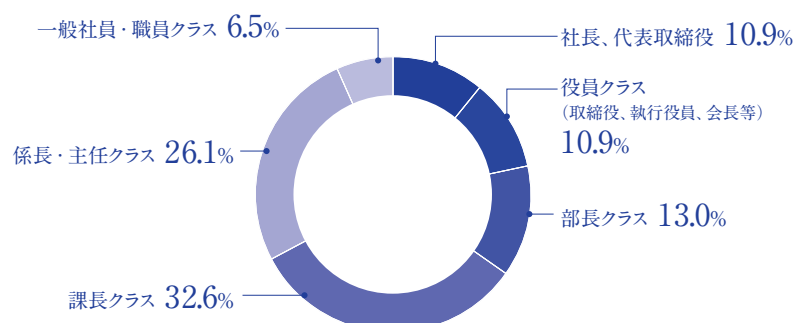
誰と学び、誰と繋がるか クラスメイトは、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナル

CBSの教室であなたを待っているのは、圧倒的な経験値を誇る仲間たちです。学生の平均年齢は42.6歳。さらに、組織の意思決定を担う部長クラス以上が34.8%、[マネジメント層／役職者全体]に広げると実に67.4%を占めます。データが示す通り、ここは各業界のプロフェッショナルが集う洗練されたコミュニティです。教科書通りの理論だけでは通用しない、実務の修羅場をくぐり抜けてきたビジネスパーソン同士だからこそ、ディスカッションの深さとリアリティは格別。お互いの知見を共有し合うことで、あなたのビジネスの視座は一気に引き上げられます。

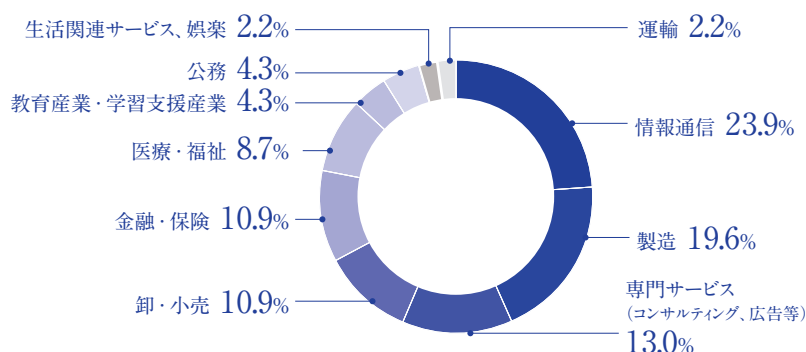
年齢構成 (2026年4月入学者)



役職の比率 (2026年4月入学者)



業種の比率 (2026年4月入学者)



■ CBS 学生の勤務先の例

アサヒビール株式会社／三井住友海上火災保険株式会社／株式会社AOKI／エーザイ株式会社／株式会社ADK／NTT東日本株式会社／株式会社エネパルス／株式会社NTTデータ／MSD株式会社／株式会社きらぼし銀行／株式会社産経新聞社／株式会社SUBARU／株式会社セブン&アイホールディングス／大正製薬ホールディングス株式会社／大鵬薬品工業株式会社／太陽インキ製造株式会社／ダルトン・アドバイザー株式会社／TBCグループ株式会社／東京海上日動火災保険株式会社／東京電力ホールディングス株式会社／株式会社DoCLASSE／東宝株式会社／株式会社トリドールホールディングス／株式会社日本政策金融公庫／長谷川香料株式会社／パナソニックインダストリー株式会社／東日本急行株式会社／株式会社ビルバックジャパン／ファイザー株式会社／富士フイルムエンジニアリング株式会社／前橋市役所／山梨県庁／ヤマハ株式会社／株式会社ヨックモック／イオンリテール株式会社／日本エアータック株式会社／一般財団法人日本気象協会／株式会社インフキュリオン／ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社／第一工業製薬株式会社／株式会社プリマジェスト／株式会社Box Japan

国際的に評価されているCBS

MBA の国際認証を AMBA より取得

CBSは、MBA教育に関する国際認証機関であるAMBA(Association of MBAs：英国、本部ロンドン)から、2022年9月に認証を取得しました。

●ビジネス教育の国際認証とは何か

ビジネス教育の国際認証とは、国際的な第三者機関による認証評価を通じて、ビジネススクールの教育研究活動の質を担保するものです。CBSが認証をうけたAMBAは、1967年に英国で設立されたビジネス教育の国際認証機関であり、AACSB(米国)、EFMD(ベルギー)とならぶ、三大国際認証機関の1つです。認証を取得することにより、CBSは世界トップクラスのビジネススクールと並ぶ教育研究水準にあることが認定されました。また、継続的な教育の質の改善への取り組みが評価され、2025年9月に再認証を受けました。2025年時点で、世界のトップクラスのビジネススクール約2%、316校がAMBAにより認証されており、今後、これらビジネススクールとの国際的なネットワークがますます進展することが期待されます。



世界基準（AMBA）が認めた、CBS の強み

AMBA(国際認証機関)から高く評価されたのは、社会人大学院生の成長とチェンジ・リーダー育成に焦点を当てたカリキュラム、全国に広がる活発な修了生コミュニティ、そして「實地應用ノ素ヲ養フ」という中央大学の建学の精神に基づく「理論と実践を架橋する教育プログラム」です。具体的には、主に以下の項目が評価されました。

理論と実践の統合（行動する知性）

理論的・学術的な枠組みに実践を統合し、学問的な深さと実践的な応用可能性を高い次元でバランスさせた教育。

実業界との強固な結びつき

エグゼクティブ教育を提供する「戦略経営アカデミー」を通じた、ビジネススクールと産業界の連携強化。

柔軟で多様な学びの機会

オンラインと対面の融合により、居住地を問わず、多様な背景を持つ学生の参加を促進。

手厚い少人数教育

教授陣と学生の距離が近く、一人ひとりの学修やキャリアに対して丁寧なフィードバックとサポートを提供。

受講生ファーストの授業改善

各講義後に構造的なフィードバックを回収。開講期間中であっても、学生の声を受けて継続的に授業を改善する仕組み。

最適な学修環境

東京の中心部（御茶ノ水・神保町エリア）に位置し、2023年に開設された駿河台キャンパスの質の高い施設・設備。

斬新な起業・イノベーションプログラム

他研究科（理工学・国際情報など）とのコラボレーション、シリコンバレー研修など、斬新なアントレプレナーシップへの取り組み。

強力なネットワーク

全国に広がる、CBS 修了生たちの活発かつ緊密なコミュニティ。

エスコンフィールド HOKKAIDOから 新たな価値を生み出したい × CBS

まえざわ けん
前沢 賢さん

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント 代表取締役社長 2011年9月入学



前沢賢さんは、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントの代表取締役社長として「エスコンフィールドHOKKAIDO」の運営と「北海道日本ハムファイターズ」の事業を指揮しています。観戦環境の整備にとどまらず、子どもたちに向けた取り組みなど地域活性化にも注力。そこにはCBSで培った理論的な学びが息づいています。

多様な授業を通して、 現場経験と経営理論が結びつく

露木 CBSに入学した経緯を教えてください。

前沢 もともと、社会に出たあとに大学院でもう一度しっかり学び直したいと思っていました。そこでいろいろ調べていく中で、CBSの存在を知りました。惹かれたのは、土日でも通える点ですね。仕事がかかり立て込んでいる時期でもあったのですが、CBSなら集中して受講できると思いました。

露木 当時のCBSはどのような雰囲気でしたか？

前沢 これまでの経験では、高校や大学のように、どこか受け身な印象を受けることが多かったんです。しかし、ビジネススクールは全く違いました。CBSの在學生はみな、授業に積極的に参加することが当たり前だったんです。ああいう環境で学ぶのは初めてだったので、すごく刺激を受けました。お互いを一人の社会人として尊重し合い、敬意を持って関わる。そういう空気が自

然にできていたのを覚えています。

露木 実際に授業を受けてみて、いかがでしたか？

前沢 印象深かったのは、自分がこれまで実践してきたこと、経営学の理論が次々につながっていったこと。CBSに通えば通うほど、頭の中に散らばっていた「点」が整理されて「線」になっていったんです。現場では経験や感覚を頼りに判断することも多かったのですが「自分がやってきたことは理論的にも間違っていないかったんだ」と、確認できたことは大きな収穫でした。

露木 そのようにおっしゃる修了生は多いですね。

前沢 ダイナミック・ケイパビリティのような、一見すると難解な概念でも、実務経験と重ね合わせることで自然に理解できました。そこを突き詰めていくと、理論の奥にある哲学的な領域まで踏み込むことになるんですよね。ビジネスと哲学はまったく別物だと思っていましたが、最後に行きつくのは人の考え方や価値観といった哲学に触れる部分なのかもしれません。その意味では、思考の深さが求められますし、とても有意義な学びでした。

Interviewer

2014年3月にCBSを修了された前沢賢さんにお話を伺いました。株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント代表取締役社長として、エスコンフィールドHOKKAIDOを指揮する前沢さん。現場での経験とCBSでの理論的な学びが結びつき、「点が線になった」と語ります。地域への価値還元や次世代支援に挑む姿から、チェンジ・リーダーとしての思考と熱意に迫ります。

露木 恵美子教授



露木 プロジェクト研究はどのようなテーマを設定したのでしょうか。

前沢 日本のプロ野球とアマチュア野球を融合させて、ビジネスとしてどう発展させていくべきか？といった研究をしました。日本の野球界には、JリーグやBリーグのようなプロとアマチュアが一体となった組織構造がありません。こうした特殊性がどのような背景から生まれ、なぜ現在の形で定着したのか。そこを調べなおしてどうすれば価値の質と量を増加できるのかを追求していきました。

しつこいくらいがちょうどいい チェンジ・リーダーの思考法

露木 CBSの学びはお仕事にも活かされていますか？

前沢 はい、スポーツビジネスは特殊な業界という印象を持たれがちですが、一般的なビジネスと本質的な違いはないと思っています。まだ歴史の浅い分野なので、経営学のフレームワークや経営理論などを応用する余地は大きい。一方で、業界の中には一般的なビジネスの考え方と距離を置いてしまう人も少なくありません。けれども、その考え方が事業の成長を妨げている面もある。そういう人ほどビジネススクールに通って、MBAの観点を知る必要があるのではないのでしょうか。

露木 CBSはチェンジ・リーダーの育成をミッションにしています。前沢さんのご経歴を拝見すると、まさにその体現者だと感じます。

前沢 ありがとうございます。自分がチェンジ・リーダーと呼べるかどうかはわかりませんが、以前、専門家の方から「エスコンフィールドは論理的な視点に基づいて運営されている」と評価いただいたことがありました。実際その通りで、私た

ちはビジネスの根底にある原理原則を含め論理性を非常に重視しています。

露木 パッションだけではドラスティックな変化は起こせない、ということでしょうか。

前沢 勢いだけでは表面的な部分にしか影響を与えられないですね。じわじわと根っこから変えていくことが、チェンジ・リーダーの役割です。言葉を選ばずに言えば、少し面倒くさい性格の人ほど、チェンジ・リーダーとしての適性があるのではないのでしょうか(笑)

私自身、意思決定の場面では何度も自分自身に「なぜ？」を繰り返しますし、その過程が理論をより強固なものにしてくれると信じています。部下の提案に対してもしつこく問いを重ねますし、深い思考があるかないかを問うので、多分煙たがられていると思います。

露木 思考を深めることが重要になるんですね。

前沢 本来の賢さとは、思考の深さにあると考えています。もちろん、知識の量や頭の回転の速さも大切ですが、それだけではそのビジネスの本質にはなかなかたどり着けません。思考を深めることで、目の前の事象だけでなく、その背景や将来起こり得る変化まで想像できるようになる。つまり、「思考の深さ」「創造の広がり」は比

⋮

▶ インタビューのフルバージョンをぜひウェブ版でご覧ください。



Web は
こちらから

https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/business/mylife/

日本のコンビニを 世界に発信したい × CBS

タン チー
唐 琪さん

株式会社セブン&アイ・ホールディングス 法務部 2024年4月入学

セブン・イレブン・ジャパンに務める、中国出身の唐 琪さん。現在は知的財産権に関する業務を担当しています。実務経験を積むなかで、学生時代から目標としていたCBSに入学。授業や同期との交流を通じて、どのような学びを得たのでしょうか。

MBAの知識を 法務の仕事に活かしたい

竹田 唐さんの現在のお仕事を教えてください。

唐 入社後、半年間の店舗研修を経てから加盟店会計部を経験し、法務部へ異動しました。商標や特許などの知的財産全般を取り扱っており、現在は主にプライベートブランド商品を中心とした権利取得や維持管理、リスク対応などを担当しています

竹田 どのような経緯で、CBSを知りましたか？

唐 学生時代から、その存在は知っていました。私は中国の大学で日本語学科に在籍していて、インターンでは通訳の仕事も経験しました。せっかく身につけた日本語をもっと実務で活かしたいと思い、日本の大学院でMBAを学ぶことを考えていた時期があったんです。その流れで日本のビジネススクールを調べ、CBSにも関心を持つようになりました。

竹田 ということは、はじめから日本でMBAを学ぶつもりだったんですね。

唐 そうですね、CBSに入学を決めた大きなきっかけは、会社の社内制度として推奨されていたことでした。以前から、法務の分野が強いスクールという印象があったので、現在の仕事ともマッチすると思いました。当社の会長が中央大学出身ということも後押しになりましたね。

竹田 法務のお仕事にMBAの知識を活かしたい、と考えたんですね？

唐 はい、2015年から法務の仕事を担当してきましたが「知識がまだ足りない」と感じる場面が多かったです。知財に関する資格も独学で取得してきましたものの、体系的に学べていないことに物足りなさもあって。キャリアを重ねるほど、基礎から法務を学び直したい気持ちが強くなっていったんです。いざ、CBSに入学してみると、仕事と学びの両立は想像以上に大変でした(笑) 入学しても仕事量が変わるわけではないので、決して片手間でできるものではありませんでした。後輩に任せきりにするわけにもいかず、業務を調整しながら、なんとかやりくりしました。

Interviewer

2026年3月に修了された唐さんにお話を伺いました。唐さんは、海外出身で来日されて日本の流通業で法務の仕事をしています。ビジネス、CBSでの学び、それから子育てと、2年間の多忙な毎日をどのように過ごされたのかをお聞きしました。

竹田 陽子教授



竹田 お子さんもいらっしゃるから、家事のことも考えなくてはいけない。

唐 そうですね、生活面は家族が支えてくれました。夫も義母も「思いきり学んできて」と、家事を手伝ってくれて、本当に心強かったです。最終的にMBAを取得できましたが、これは私一人の力ではなく、家族みんなで実現したものだと感じています。振り返ってみると、CBSに在学していた2年間は、人生で最も成長できた時期かもしれません。仕事に育児、学び……と、濃厚な2年間だったから、卒業したときは思わず泣いてしまいそうでした。今は“CBSロス”の真っ只中です。話していたら、ひさしぶりに同期の皆さんと会いたくなってきました。

チームで学び、チームで伸びる グループワークで得た気づき

竹田 CBSの授業を受けてみての率直な感想を教えてください。

唐 実際に学んでみて感じたのは、どの科目も想像以上に密度が高く、扱う領域の幅がとても広がったことです。法務の授業は実務と結びついている部分も多く、自分の経験と照らし合わせながら体系的に整理することができました。一方で、これまで触れてこなかった分野もたくさんあり、新しい知識に出会うたびに刺激を受けました。分野ごとに難しさはありましたが、社会人になって学び直すことの面白さを強く実感しました。

竹田 印象に残っている授業はありますか？

唐 「アントレプレナーシップの実践」や「コーチング」、リーダーシップ関連の授業ですね。これらの授業を通して、仕事への向き合い方を改めて見直

すことができました。

一方で、財務に関する授業はかなり苦戦しました。もともと会計の出身なのですが、なんとかついていけると思っていたのですが、本格的に領域に入ると一気にレベルが上がってしまって。あれだけ難しい内容にもかかわらず、先生方が短期間で丁寧な教えてくださって、本当にありがたかったです。

竹田 ほとんどの授業に組み込まれているグループワークは役立ちましたか？

唐 はい、グループワークがなかったら、途中で心が折れていたかもしれません。私はもともと一人で進めるより、みんなで協力しながら取り組むのが好きなんです。人には強みと弱みがあるものですが、グループワークではそれぞれが得意分野を活かして支え合う環境でした。休憩時間でも自然と授業の話になるので、理解がどんどん深まっています。あの環境があったから、グループワークのメンバー全員が成長できたのだと感じています。

竹田 グループワークで意見を交わし合うと、知識が自分のなかに定着していくんですね。唐さんは日本語が堪能ですが、コミュニケーションにご苦労はありませんでしたか？

唐 コミュニケーションの苦労はありませんでした

⋮

▶ インタビューのフルバージョンをぜひウェブ版でご覧ください。



Webは
こちらから

https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/business/mylife/

専任教員紹介

実務と理論の融合により、
プロフェッショナルの養成を目指す



1. ○は当該年度に研究促進制度を半年もしくは一年取得予定 2. ☆は当該年度に退職予定

注 1) ・上記予定も含め、研究期間や退職予定は変更される場合があります。

・研究期間にある教員については授業を担当しません。・担当科目は変更になる場合があります。

注 2) 2027 年度末までの研究促進制度、定年退職について記載しています。2028 年度以降については、お問い合わせください。

詳しい教員紹介につきましては
ホームページをご覧ください。

戦略



遠山 亮子
TOYAMA Ryoko
教授

専門分野 国際経営戦略、
イノベーションマネジメント

略 歴 Ph.D (ミシガン大学) / 北陸先端科学技術大学院大学准教授を経て現在に至る。



露木 恵美子
TSUYUKI Emiko
教授

専門分野 組織論、戦略論、ベンチャービジネス論

略 歴 博士 (知識科学) (北陸先端科学技術大学院大学) / 独立行政法人産業技術総合研究所ベンチャー開発研究センター特別研究員・客員研究員、明星大学経済学部経営学科准教授を経て現在に至る。



犬飼 知徳
INUKAI Tomonori
教授

専門分野 経営戦略論、経営組織論

略 歴 博士 (商学) (一橋大学) / 香川大学経済学部准教授を経て現在に至る。



真野 俊樹
MANO Toshiki
教授

専門分野 医療経済学、医療経営学

略 歴 医師 / 医学博士 / 経済学博士 / 総合内科専門医 / MBA。臨床医、製薬企業のマネジメント、大和総研主任研究員などを経て、多摩大学医療・介護ソリューション研究所教授。厚生労働省独立行政法人評価有識者委員などを兼務。



生稲 史彦
IKUINE Fumihiko
教授 ○ 2026 年度後期 ~ 2027 年度前期

専門分野 経営戦略論、技術経営、イノベーション

略 歴 博士 (経済学) (東京大学) / 一橋大学イノベーション研究センター専任講師、文京学院大学経営学部准教授、筑波大学システム情報系准教授を経て現在に至る。



新藤 晴臣
SHINDO Haruomi
教授

専門分野 コーポレート・アントレプレナーシップ
大学発ベンチャー

略 歴 三菱UFJリサーチ&コンサルティング研究員、メガベンチャー経営企画室管理職、国立研究開発法人産業技術総合研究所研究員、大阪公立大学大学院都市経営研究科教授 / 研究科長を経て現在に至る。



竹田 陽子
TAKEDA Yoko
教授 ○ 2027 年度後期 ~ 2028 年度前期

専門分野 イノベーションの戦略と組織

略 歴 博士 (経営学) (慶應義塾大学) / 市場調査会社勤務、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター専任講師・助教授、横浜国立大学助教授・教授、東京都立大学教授を経て現在に至る。



八尋 俊英
YAHIRO Toshihide
特任教授

専門分野 企業・行政の構造変革 ガバナンス ビジネスと公共

略 歴 LL.M. (London School of Economics) MA (City, University of London) ソニー子会社COO、経産省参事官、日立コンサルティング社長、東京科学大学特定教授を経て現職。厚労省デジタル統括アドバイザー・IT企業社外役員兼務。

マーケティング



阿部 誠
ABE Makoto
教授

専門分野 マーケティング・サイエンス、
消費者行動、行動経済学

略 歴 Ph.D. (オペレーションズ・リサーチ) (マサチューセッツ工科大学) / イリノイ大学ビジネススクール助教授、東京大学経済学部助教授、教授を経て現在に至る。



金 雲鎬
KIM Woonho
教授

専門分野 マーケティング戦略、デジタルマーケティング戦略、BtoBマーケティング

略 歴 博士 (商学) (神戸大学) / 山梨学院大学専任講師、准教授、日本大学准教授、教授を経て現在に至る。

人的資源管理



高村 静

TAKAMURA Shizuka
教授**専門分野** 人的資源管理、組織行動、キャリア論、ワークライフバランス論**略歴** 博士（学際情報学）（東京大学）／民間企業勤務、内閣府男女共同参画分析官、名城大学特別任用教授を経て現在に至る。

島貫 智行

SHIMANUKI Tomoyuki
教授 O 2026 年度前期**専門分野** 人的資源管理論**略歴** 博士（商学）（一橋大学）／総合商社人事部門勤務後、山梨学院大学現代ビジネス学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科専任講師、准教授、同経営管理研究科教授を経て現在に至る。

ファイナンス



宮永 雅好

MIYANAGA Masayoshi
教授**専門分野** 企業会計、財務分析、コーポレートファイナンス、M&A、企業情報開示、ESG**略歴** 博士（学術）（早稲田大学）／日本債券信用銀行（現 ㈱あおぞら銀行）、シュローダー投信投資顧問取締役運用部長、株式会社ファルコン・コンサルティング代表取締役、國學院大学非常勤講師、東京理科大学経営学研究科教授などを経て、2023年4月より現職。上場企業の社外取締役、国立がん研究センター発の創業ベンチャー株式会社濃研研究所のCFOを兼務。

石崎 篤史

ISHIZAKI Atsushi
特任教授**専門分野** 企業会計、企業の経営・財務分析、コーポレートファイナンス、コーポレートガバナンス、リストラクチャリング、不動産ファイナンス、PPP（官民連携）**略歴** 博士（学術）（東京工業大学）／日本開発銀行（現 ㈱日本政策投資銀行）入行後、ニューヨーク事務所、プロジェクトファイナンス部、（財）国際金融情報センター審議役、審査部課長、（株）日本経済研究所調査本部PPP推進部長・ソリューション本部上席研究員、人事部参事役などを経て事業会社にて経理部長を歴任。2022年4月より現職。

経営法務



杉浦 宣彦

SUGIURA Nobuhiko
教授**専門分野** 企業法務、金融法、IT関連法**略歴** 博士（法学）（中央大学）／香港上海銀行コンプライアンスオフィサー、金融庁金融研究センター研究官、JPモルガン証券シニアリーガルアドバイザーを経て現在に至る。

伊藤 亜紀

ITO Aki
特任教授**専門分野** 企業法務、金融法、情報法**略歴** 慶応義塾大学法学部卒業後、NHK記者を経て弁護士登録／弁護士法人片岡総合法律事務所パートナー弁護士／中央大学法科大学院兼任講師を経て現職／金融庁金融審議会専門委員（資金決済、暗号資産）／複数企業の社外監査役を務める。

講義支援



郭 天宝

GUO, Tianbao
助教**専門分野** サービス起業、スマートビジネス、DXイノベーション、技術経営**略歴** 修士（経営学）（横浜市立大学）／総合電機メーカー営業部門勤務後、2022年4月中央大学大学院商学研究科博士後期課程商学専攻に入学。2023年4月より現職。

アドバイザーリーボードメンバーとして 各界をリードするメンバーが連携してサポートします

「アドバイザーリーボード」は、外部の有識者を中心に構成され、中央大学ビジネススクールの教育と運営の全般にわたり、充実と改善のための忌憚ない意見を示し、助言する委員会です。



株式会社セブン&アイ・ホールディングス
執行役員

榎本 拓也



社会福祉法人大寿庵 理事長
大阪学院大学 特任教授

大社 啓二



ANAホールディングス株式会社
常勤監査役

梶田 恵美子



四谷東法律事務所 弁護士
中央大学法科大学院 客員教授

木村 英明



公益財団法人 21 世紀職業財団
会長

定塚 由美子



三菱 UFJ リサーチ &
コンサルティング株式会社
代表取締役社長

早乙女 実



高倉 &Company 合同会社
共同代表

高倉 千春



中央大学商学部教授

武石 智香子



日本公認会計士協会
相談役（元会長）

藤沼 亜起



株式会社東日本放送
代表取締役会長

藤ノ木 正哉



中央大学名誉教授

山本 秀男



日本通運株式会社
相談役

渡邊 健二



株式会社東京きらぼし
フィナンシャルグループ
代表取締役社長 グループ CEO
株式会社きらぼし銀行 取締役頭取

渡邊 壽信

掲載者一覧（50 音順、敬称略）

「南甲倶楽部」も積極的に応援します



梶田 恵美子

南甲倶楽部会長
ANAホールディングス株式会社 常勤監査役

南甲倶楽部
ホームページ



中央大学南甲倶楽部は、中央大学を卒業し経済界で活躍する卒業生により1952年（昭和27年）に設立された同窓会組織です。会員相互の親睦と研鑽を図ると共に、母校の興隆に寄与することを目的として、多岐に亘る活動および母校関係諸団体との協力活動を精力的に実践しています。

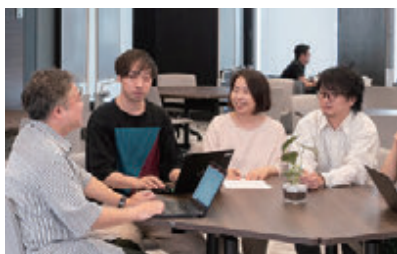
2008年4月に開設された中央大学ビジネススクール(CBS)は、南甲倶楽部のみならず、経済界で活躍されている中央大学卒業生が待ち望んでいた専門職大学院です。南甲倶楽部は、ビジネススクールの教育活動を支援すべく、開設時より講師の派遣や奨学を目的とする基金の創設をはじめとした多彩な協力活動をなし得る支援体制を敷いています。「戦略経営を実践し、自分を変え組織を変え社会を変えるチェンジ・リーダーを育成する」ことをミッションとする本学の社会人向けビジネススクールにより、実学に強い、本学の魅力と存在感はますます高まるものと期待しています。

※本頁記載の役職等は 2026 年 8 月現在のものです。

質の高い学びに特化した新キャンパスのラーニングプレイス

CBSは2023年に駿河台新キャンパスに移転し、ビジネスパーソンの学びの空間をさらに充実させています。

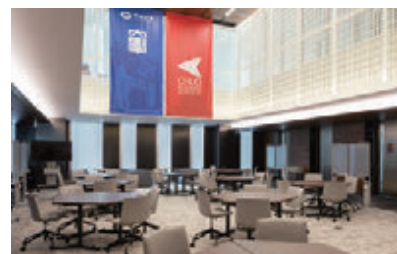
コモンズ 交流から知を創造する



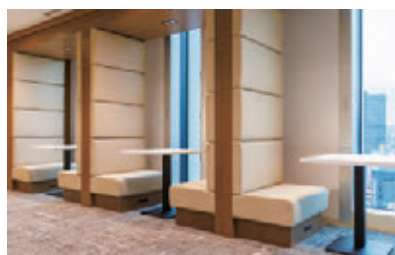
CBSの学生専用のオープンスペースです。実務経験豊かな仲間との議論から、新しいアイデアやビジネスプランが生まれます。



成果発表大会やポスターセッションには修了生も参加できます。ビジネスパーソンの交流とネットワークが広がります。

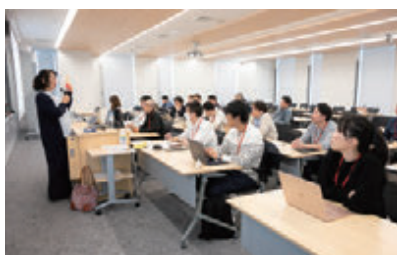


図書館 先人の知に触れる

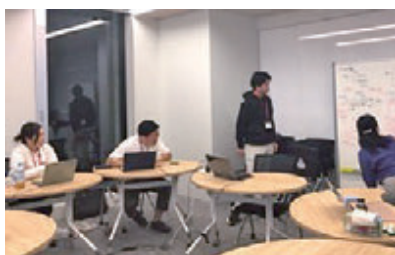


ビジネスや法務の専門書が充実しています。レポートや論文・課題研究の作成に専門書の学習は欠かせません。

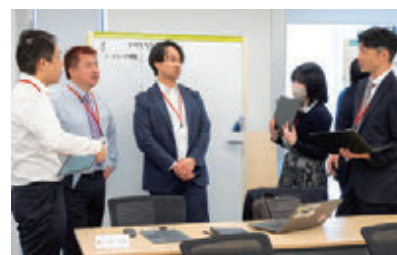
講義室 最先端の知を学ぶ



講義では最新の経営理論や先進事例を学びます。教員の問いかけと学生の積極的な発言によって学びが深まります。



少人数のグループワークの機会も豊富です。さまざまな視点の考えに触れて、時間を忘れるほど議論が白熱します。



エントランス 知の空間で出会う



エントランスを入ると、自然光が差し込む開放的なロビーが出迎えてくれます。通学するモチベーションが高まります。

MBA の概要・入試情報

MBA コース説明会については
ホームページをご覧ください



MBA

概要

名称：中央大学大学院 戦略経営研究科戦略経営専攻
Chuo Graduate School of Strategic
Management, Strategic Management Course
設置形態：専門職大学院
設置場所：〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
駿河台キャンパス
学位名称：経営修士（専門職）MBA
入学定員：80 人
修了要件：2 年以上在学し、46 単位以上を修得すること

募集概要

◆入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

<求める人材>

戦略経営研究科では、組織の戦略経営に関する分野における理論並びに実務に関する教育研究を行うことにより、広く豊かな学識と優れた専門能力を有し、自分を変え組織を変え社会を変えることでビジネスを通じて社会に貢献できる人材、すなわちチェンジ・リーダーを養成することを目的としています。この目的を達成するため、次のような人材を求めています。

- ・社会・経済の急激かつ不確実な変化の中で、所属する企業・団体の存在意義や今後の方向性を真剣に考えている人
- ・異なる業種・職種・企業・団体の人々との交流を通じて、職業人としての視野を広げ、新たな視点を得ようとする人
- ・自らに欠けている知識の習得や具体的なビジネス・スキルの向上をめざし、それを自ら所属する企業・団体に応用しようと試みる人
- ・職業経験をもち、近い将来に経営幹部や経営者（CEO、COO など）、事業承継、さらに起業を目指す人
- ・自らの職業人としてのキャリアパスを見直し、新しいキャリア・イメージを確立したい人
- ・実務経験で身につけた暗黙知を理論的に整理し、実務家教員など研究者へのキャリア転換を考えている人
- ・グローバルな仕事で活躍したいと考えているビジネス・パーソンを目指す人
- ・日本でビジネスができる能力を身につけたいと思っている外国人ビジネス・パーソン

以上のような人材を選抜するために、実務における具体的な問題意識およびありたいチェンジ・リーダー像を詳細に説明する志願理由書に基づいて複数人の教員によって面接試験を行なっています。

◆入学試験について

●出願資格

次の【A】～【C】のいずれかに該当する者。

【A】大学卒業以上の方

以下項目（1）～（7）のいずれかに該当する者で、かつ入学時点で日本の民間企業や行政機関、公益法人等において3年以上の就業経験を有する者（1）大学を卒業した者（早期卒業を含む）または卒業見込みの者
上記（1）には、大学院または専門職大学院の課程を修了した者を含みます。
（2）大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
（3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
（4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
（5）日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつ

て、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

（7）文部科学大臣の指定した者

【B】外国籍の方

受験時点において、日本の民間企業や行政機関、公益法人等で3年以上就業経験がない外国籍の方においては、以下【B】（1）～（3）全てに該当する方が対象となります。

（1）上記【A】の（1）～（7）のいずれかに該当する者

（2）入学時点で25歳に達しており、3年以上の就業経験を有する者

（3）公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する「日本語能力試験」レベルN1に合格している者

※N1証明書については、任意書類と同様に出願フォームよりご提出ください。

【C】短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校、各種学校の卒業生
本研究科において実施する個別の出願資格審査（以下詳細）を通過した者。
上記【A】【B】に該当しない方で、入学時点で22歳に達しており、かつ3年以上の就業経験を有する方。

本研究科が実施する個別の出願資格審査により、大学卒業と同等以上の学力があると認められた場合に出願が可能となります。

※22歳を超えていても、就業経験が3年未満の方は出願資格審査を申請することはできません。

※出願資格審査を希望する方は、出願前に以下の通り「出願資格審査申請書」を請求の上、他の書類と合わせて提出してください。

●選考方法

①一般入試

書類審査（志願者経歴書・志願理由書）、面接試験

②企業等推薦入試

書類審査（企業等からの推薦書・志願者経歴書・志願理由書）、面接試験

※一般入試と企業等推薦入試の併願はできません。

【試験日程】2027年4月入学

●11月選考

出願期間：2026年10月16日（金）～2026年10月27日（火）

選考日：2026年11月8日（日）

●1月選考

出願期間：2026年12月18日（金）～2027年1月12日（火）

選考日：2027年1月24日（日）

●2月選考

出願期間：2027年1月22日（金）～2027年2月2日（火）

選考日：2027年2月13日（土）

※詳しくは中央大学ビジネススクールHPをご確認ください。

2027年9月入学

●7月選考

出願期間・選考日については未定となっております。内容が確定次第ホームページに掲載します。

学費

（2026年度）

費目	初年度	2年目
入学金	300,000円	—
在学科	1,250,000円	1,250,000円
施設設備費	300,000円	300,000円
合計	1,850,000円	1,550,000円

※本学学部卒業生は入学金の半額が免除されます。

※学費および学費に関する取り扱い等は、在学中に変更される場合があります。

単科コース ※単科コースの正式名称は「科目等履修生」制度です

概要

名称：中央大学 戦略経営研究科戦略経営専攻 科目等履修生 制度
入学定員：若干名

募集概要

◆入学選抜方針

中央大学大学院 戦略経営研究科戦略経営専攻に準ずる。

◆入学試験について

●出願資格

中央大学大学院 戦略経営研究科戦略経営専攻に準ずる。

●選考方法

中央大学大学院 戦略経営研究科戦略経営専攻における一般入試に準ずる。

【試験日程】

2027年4月入学

出願期間：2026年12月18日（金）～2027年1月12日（火）

選考日：2027年1月24日（日）

2027年9月入学

出願期間・選考日については未定となっております。内容が確定次第ホームページに掲載します。

学費

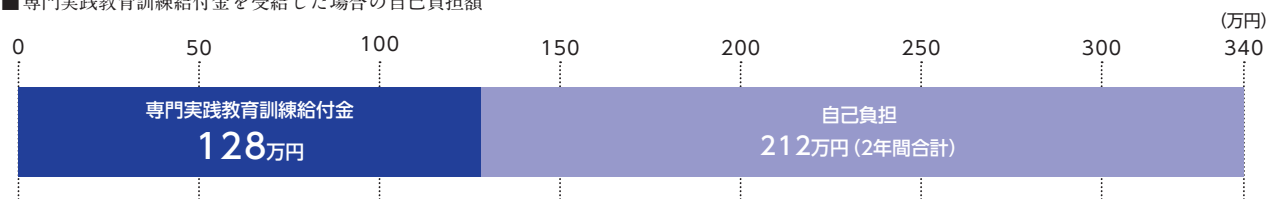
登録手数料 10,000円 科目履修料 1単位 34,000円*

※本研究科において、通常1科目は2単位となっておりますので、1科目（100分×14コマ）の科目履修料は、68,000円（34,000円×2単位）となります。

充実した給付・奨学金制度

●専門実践教育訓練給付金で最大128万円の給付、給付奨学金制度も充実

■専門実践教育訓練給付金を受給した場合の自己負担額



1 給付奨学金

「給付奨学金」は、入学前、合格発表と同時に給付が決定されます。優秀な院生を支援することを目的として、南甲倶楽部をはじめとする卒業生、企業からの寄付を原資としています。

入学試験において特に優秀な成績を修めた若干名に対して、1年間に30万円を最大2年間給付します。ただし、企業が学生の学費を負担する場合は給付奨学金の適用対象とはなりません。

2 専門実践教育訓練給付金

2年間でCBSを修了すると条件を満たした場合給付金額が最大128万円支給されます。

CBSは、「専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」に指定されています。支給対象者(受給資格者)の条件を満たす学生は、事前にハローワークに申請することにより、中央大学に支払った学費の一部を教育訓練給付金としてハローワークから支給を受けることができます(最大128万円)。専門実践教育訓練給付金に関する詳細、受給資格等については、本人住所を管轄するハローワークにご確認ください。

教育訓練経費(入学料と受講料の合計)は、受講者が自らの名において教育訓練施設に対して支払った費用となり、受講者以外の他人が費用を支払った場合は教育訓練給付金の対象外となります。

3 日本学生支援機構奨学金

①希望者を募り、毎年その年度の枠内で選考の上、採用を決定。修了後、返還が必要です。

②2026年度入学者の貸与額は以下の通りです。

第一種(無利子) 50,000円、88,000円より採択

第二種(有利子) 50,000円、80,000円、100,000円、

130,000円、150,000円より選択

4 中央大学提携教育ローン

金融機関と提携して「中央大学提携教育ローン(学費のみに利用可能)」制度を設置しています。また、入学前から利用できる入学予定者向けの制度も設けられ、入学時の納付金にも利用できます。

融資条件等は、金融機関により異なりますので、以下のウェブサイトをご参照ください。

https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/scholarship/list/e_loan/

融資対象は、学納金(入学金・学費・諸会費)に限ります。また、審査の結果、融資を受けられない場合があります。



MBA体験会(MBAコース説明会)

ビジネススクール(MBA)への進学に興味がありながらも、いろいろな疑問や不安があり、今一步受験にまで踏み出せていない方もいるのではないのでしょうか？

そこで、中央大学ビジネススクールでは、「体験型」の説明会を実施しております。MBAコースや入試の説明のほか、本校教授陣による模擬授業と在校生を交えたグループディスカッションが体験できます。

詳細な内容やお申込みについては、右記のQRコードよりご確認ください。





中央大学ビジネススクール

https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/business/

